

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年5月7日(2020.5.7)

【公表番号】特表2019-510070(P2019-510070A)

【公表日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2019-014

【出願番号】特願2018-551799(P2018-551799)

【国際特許分類】

C 0 7 D 513/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/429 (2006.01)

A 6 1 K 47/68 (2017.01)

【F I】

C 0 7 D 513/04 3 0 1

C 0 7 D 513/04 C S P

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/429

A 6 1 K 47/68

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月30日(2020.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

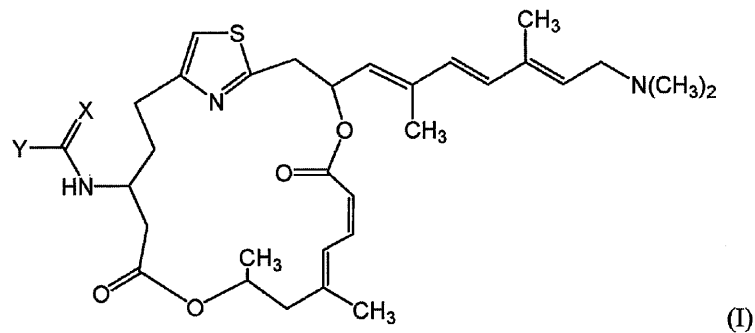
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(1)

【化1】



[式中、

XはO、NH、及びSから選択され、

YはR、OR¹、SR¹、及びN(R¹)R²から選択され、

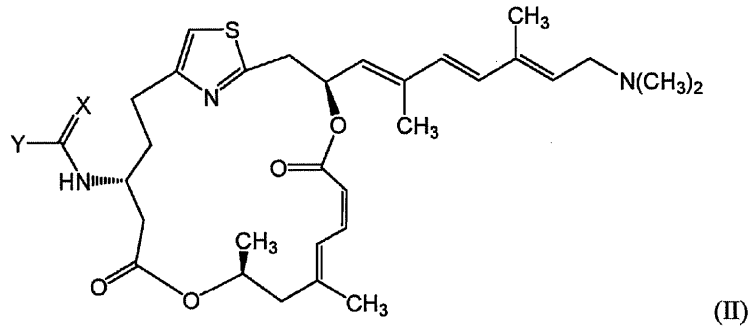
RはC₁~C₆アルキル、C₁~C₆ハロアルキル、C₆~C₁₀アリール、及び1つ又は複数の炭素がO又はN原子で置換されたC₃~C₁₂アルキル基から選択され、

R¹及びR²は水素、C1～C6アルキル、C1～C6ハロアルキル、C6～C10アリアル、及び1つ又は複数の炭素がO又はN原子で置換されたC3～C12アルキル基から独立に選択される]を有する化合物、又は、その立体異性体、ラセミ体、若しくは、薬学的に許容される塩。

【請求項2】

式(II)

【化2】

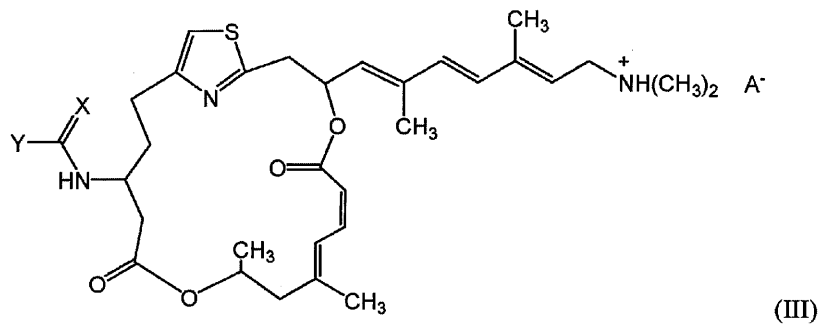


を有する、請求項1に記載の化合物、又は、そのラセミ体、若しくは、薬学的に許容される塩。

【請求項3】

式(III)

【化3】



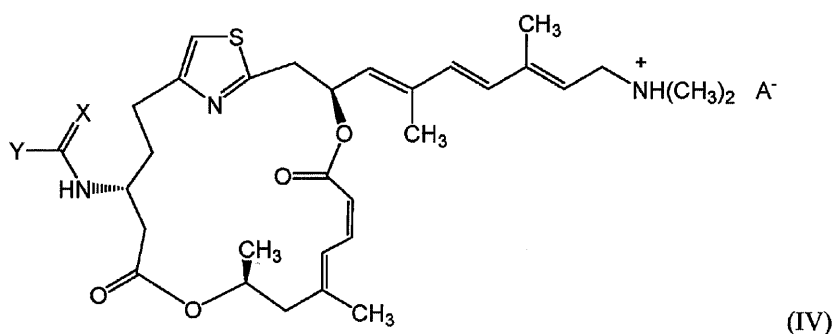
[式中、A⁻が薬学的に許容される対イオンである]

を有する、請求項1に記載の化合物、又は、その立体異性体、ラセミ体、若しくは、薬学的に許容される塩。

【請求項4】

式(IV)

【化4】



[式中、 A^- が薬学的に許容される対イオンである]

を有する、請求項2に記載の化合物、又は、そのラセミ体、若しくは、薬学的に許容される塩。

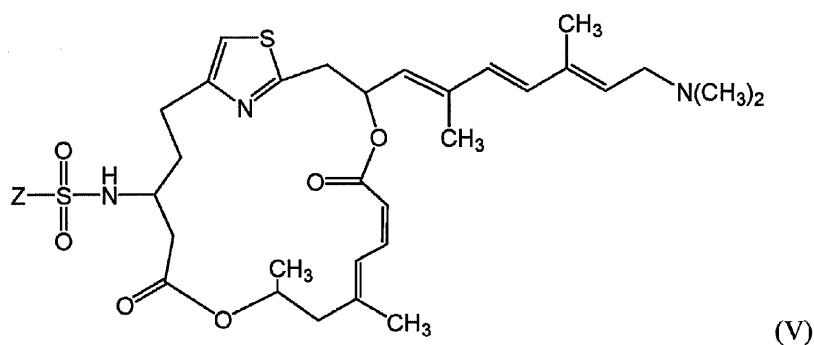
【請求項5】

A^- が、クロリド、プロミド、ヨージド、サルフェート、ホスフェート、ホルメート、アセテート、トリフルオロアセテート、マレエート、フマレート、スクシネート、タルタレート、オキサレート、シトレート、マレート、ベンゾエート、トルエンシルホネート、メタンシルホネート、及びベンゼンシルホネートからなる群から選択される、請求項3又は4に記載の化合物。

【請求項6】

式(V)

【化5】



[式中、

ZがR及び OR^1 から選択され、

RがC1~C6アルキル、C1~C6ハロアルキル、C6~C10アリール、及び1つ又は複数の炭素がO又はN原子で置換されたC3~C12アルキル基から選択され、

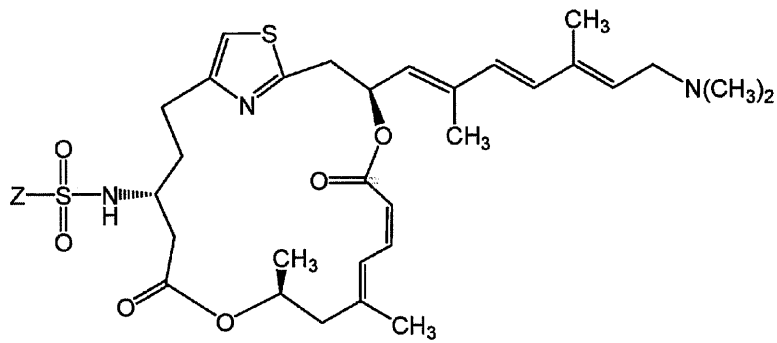
R^1 が水素、C1~C6アルキル、C1~C6ハロアルキル、C6~C10アリール、及び1つ又は複数の炭素がO又はN原子で置換されたC3~C12アルキル基から選択される]

を有する化合物、又は、その立体異性体、ラセミ体、若しくは、薬学的に許容される塩。

【請求項7】

式(VI)

【化6】



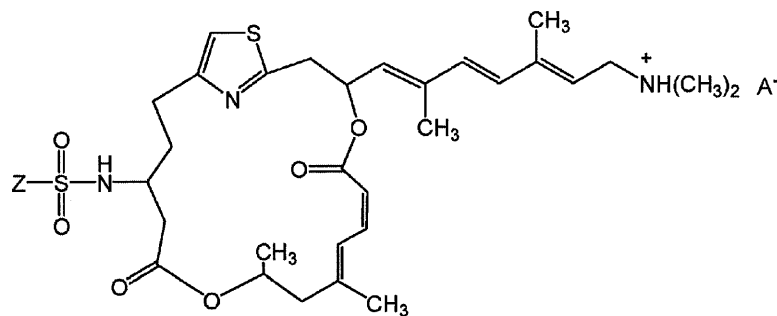
(VI)

を有する、請求項6に記載の化合物、又は、そのラセミ体、若しくは、薬学的に許容される塩。

【請求項8】

式(VII)

【化7】



(VII)

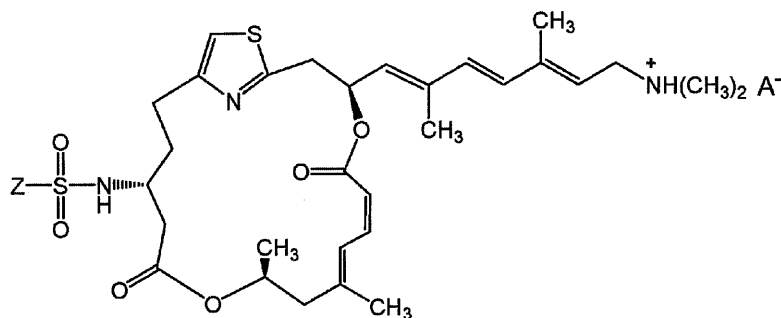
[式中、 A^- が薬学的に許容される対イオンである]

を有する、請求項6に記載の化合物、又は、その立体異性体、ラセミ体、若しくは、薬学的に許容される塩。

【請求項9】

式(VIII)

【化8】



(VIII)

[式中、 A^- が薬学的に許容される対イオンである]

を有する、請求項7に記載の化合物、又は、そのラセミ体、若しくは、薬学的に許容され

る塩。

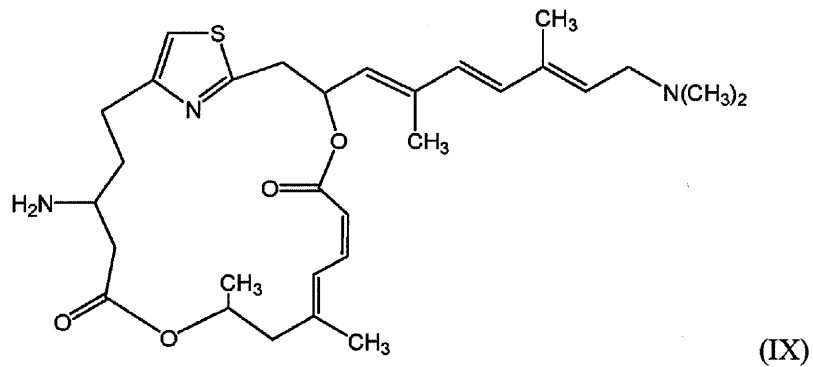
【請求項10】

A⁻が、クロリド、ブロミド、ヨージド、サルフェート、ホスフェート、ホルメート、アセテート、トリフルオロアセテート、マレエート、フマレート、スクシネート、タルタレート、オキサレート、シトレート、マレート、ベンゾエート、トルエンシルホネート、メタンシルホネート、及びベンゼンシルホネートからなる群から選択される、請求項8又は9に記載の化合物。

【請求項11】

式(IX)

【化9】

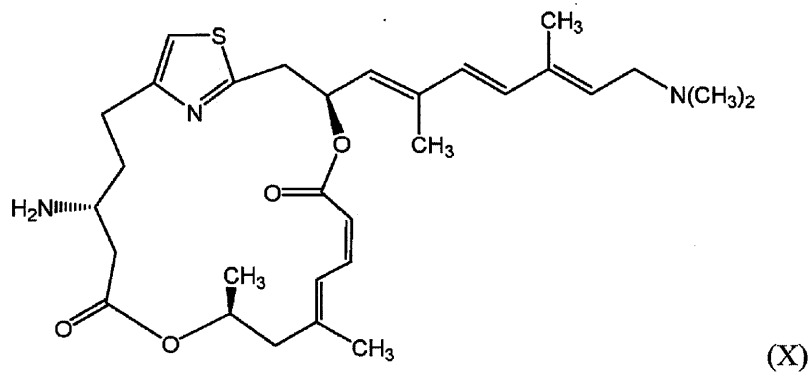


を有する化合物、又は、その立体異性体、ラセミ体、若しくは、薬学的に許容される塩。

【請求項12】

式(X)

【化10】

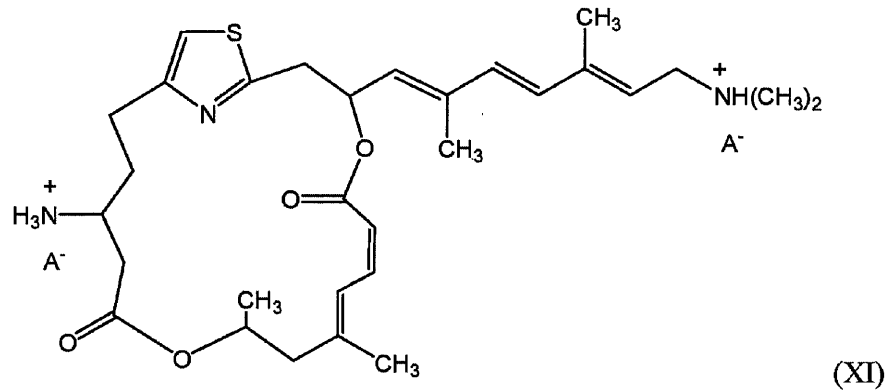


を有する、請求項11に記載の化合物、又は、そのラセミ体、若しくは、薬学的に許容される塩。

【請求項13】

式(XI)

【化 1 1】



(XI)

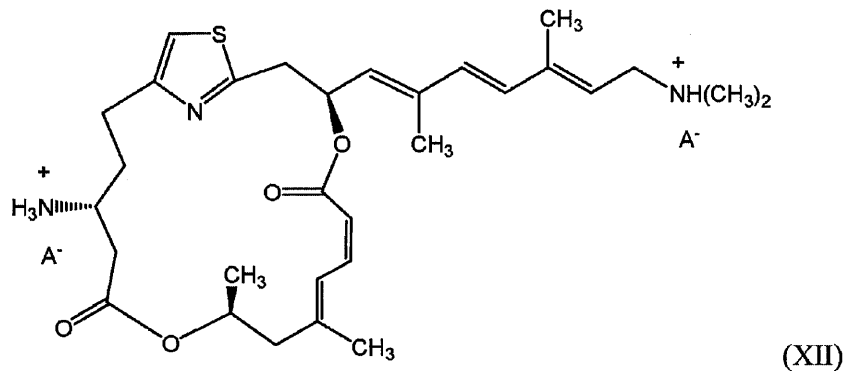
[式中、 A^- が薬学的に許容される対イオンである]

を有する、請求項11に記載の化合物、又は、その立体異性体、ラセミ体、若しくは、薬学的に許容される塩。

【請求項 1 4】

式(XII)

【化 1 2】



(XII)

[式中、 A^- が薬学的に許容される対イオンである]

を有する、請求項12に記載の化合物、又は、そのラセミ体、若しくは、薬学的に許容される塩。

【請求項 1 5】

抗体又はその機能的断片に直接又はリンカー単位を介して共有結合で連結された請求項1から14のいずれか一項に記載の化合物を含む、 α -アミノパテアミン誘導体の送達のための抗体コンジュゲート。

【請求項 1 6】

請求項1から14のいずれか一項に記載の化合物と薬学的に許容されるキャリアを含む、又は、請求項15に記載の抗体コンジュゲートと薬学的に許容されるキャリアを含む、医薬組成物。

【請求項 1 7】

請求項1から14のいずれか一項に記載の化合物又は請求項15に記載の抗体コンジュゲートを含む組成物であって、慢性リンパ球性白血病(CLL)細胞を前記組成物に接触させることによってCLL細胞の増殖を阻害するための組成物。

【請求項 18】

慢性リンパ球性白血病(CLL)を治療するための、治療有効量の請求項1から14のいずれか一項に記載の化合物、請求項15に記載の抗体コンジュゲート、又は請求項16に記載の医薬組成物を含む、組成物。